



熊本市 感染症発生動向調査 速報



●咽頭結膜熱(プール熱)について

発熱、咽頭炎、眼症状を主とする小児の急性ウイルス性感染症です。夏に多くみられますが、そのほかの季節でも報告がありますので、感染予防を心掛けましょう。

◆どんな病気?

アデノウイルスによる感染症で、主に5歳以下の小児に多い病気です。プール内や、タオルを共用することによっても感染するため、「プール熱」とも呼ばれます。

・**症状**……38℃～39℃の発熱、のどの炎症・痛み、眼の充血・痛み・目やになどが3～5日続きます。

・**潜伏期間**…5～7日

・**感染経路**…患者のくしゃみなどのしぶきを吸い込むことによる飛沫感染、ドアノブや手すりなどを介する接触感染で、とても感染力の強いウイルスです。

・**流行期**……6月ぐらいから増えてきて、7～8月に流行のピークを迎えます。

◆かかったらどうすればいいの?

・特別な治療法はありませんので、対症療法が中心になります。

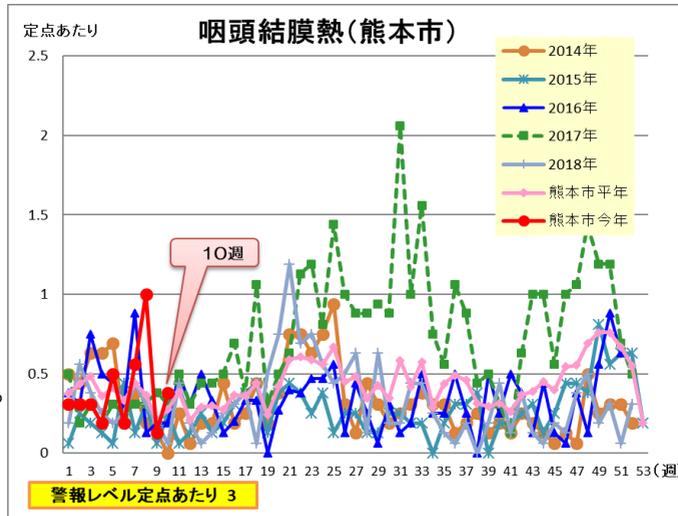
・ほとんどは自然に治りますが、吐き気や頭痛、せきがひどいときには早めに医療機関を受診しましょう。

◆予防法は?

・手洗い、うがいが基本です。症状のある人との密接な接触は避けましょう。

・プールから上がったときはシャワーを浴び、目を洗い、うがいをしましょう。タオルの使い回しは避けましょう。

・症状のある人は、周りに広げないようにマスクや手洗いを徹底しましょう。



期 間		2019年 9週		2019年 10週	
		2/25～3/3		3/4～3/10 (最新)	
疾患名 <small>(百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました)</small>	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	74	2.96	48	1.92
RSウイルス感染症	➡	12	0.75	10	0.63
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	2	0.13	6	0.38
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 ⚠	➡	47	2.94	56	3.50
感染性胃腸炎	➡	55	3.44	87	5.44
水痘(みずぼうそう)	➡	3	0.19	6	0.38
手足口病 ⚠	➡	17	1.06	18	1.13
伝染性紅斑(りんご病)	➡	6	0.38	3	0.19
突発性発しん	➡	9	0.56	12	0.75
ヘルパンギーナ	➡	1	0.06	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	1	0.06	0	0.00
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	12	2.40	17	3.40
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	1	0.20	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	➡	0	0.00	1	0.20
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス) ⚠	➡	6	1.20	4	0.80